

銅賞 橋 亜莉沙君  
北海道函館工業高等学校建築科 和みの郷

作品は、少子高齢化の時代状況を読みとり、そのような時代を象徴する高齢者施設設計を課題として提起された。この施設には、クリニックも機能訓練の場も、図書館もミニシアターも、と盛りだくさんだ。暖かさを感じる自然木や清潔感をイメージする白を基調とする建築としている。ひとつのまとまった建築に仕上げたことは評価される。ただ、ここで暮らすお年寄りが幸せを感じるかどうかについては、もっと考えることも必要だろう。もっと人を見つめることも必要だろう。そうすると、建築はもっと魅力的になるでしょう。

(文責：渡邊 広明)

